

R5. 12. 牧野保育園

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。もう季節はすっかり冬ですね。
早いもので今年も残り1か月となりました。体調の変化に気をつけながら楽しく過ごしていきたい思います。

☆もも1組 「養父元町公園へ探検に行ったよ！」

朝晩の寒さも日に日に増し、冬らしい季節となりました。子どもたちは元気いっぱい、乳児園庭で砂あそびをしたり、公園へ散歩に出かけたりと、戸外あそびを楽しんでいます。

4月から色々な場所へお散歩に行っているもも1組さん。先日、初めて養父元町公園にどんぐり拾いに行ってきました。公園に着くと、さっそく地面に落ちている葉っぱやどんぐりを拾って、じーっと観察する子どもたち。どんぐりを次から次へと拾い、保育者の手のひらにたくさん乗せてくれます。「うっ！」（見つけたよ!）「あい」（どうぞ）「たたー！」（あっちにもあるよ!）と子どもたち同士や保育者と会話をしながら集め、気づけば袋の中はどんぐりでいっぱいです。

また、公園の中に丘があり、保育者と手を繋いで登ったり、降りたりを繰り返す子もいれば、木の間から「ばぁ！」と言いながら顔を覗かせて、お友だちや保育者と笑い合っているかわいい姿もみられますよ。これからも天気の良い日は、散歩に行ってみたり、園庭に出てみたりして、身体を沢山動かして遊びたいと思います。



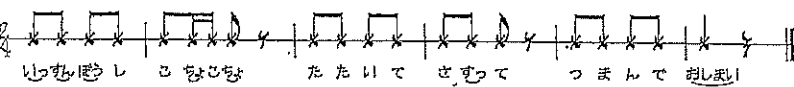
★もも2組 「お散歩大好き！」

帽子を被り「お散歩に行くよ!」と、声を掛けると“はやくいこう!”と立ち上がりとっても嬉しそうなもも2組の子どもたち。みんなお散歩が大好きです。歩行が上手になり、靴を履いて保育者と手を繋ぎ、歩いてお散歩をしています。靴を履き始めた頃は、足に違和感を感じ、歩くのを嫌がる子もいましたが、今ではとっても楽しそうに、おしゃべりをしながら歩いています。犬が大好きな子が多く、「わんわん!わんわん!」と、犬に会うのを楽しみにする姿や、地域の方々に声を掛けてもらい、笑顔で「バイバーイ」と、手を振る姿も見られます。今の時期には、落ち葉を見つけると、手に取り、“パリパリパリ”という音や、小さくバラバラになる様子をじーっと見て、「わぁ!」と、お友だちや保育者の方を向き、楽しさを伝えてくれる姿がとってもかわいいですよ!

靴を履くようになり、保育者が「どうぞ」と、靴を渡すと両手で持ち、靴箱から外へ持って来てくれます。また、靴下を靴の中から自分で出し、足を上げて一生懸命履こうとする姿も見られます。

毎日少しずつできることが増え、成長を見せてくれるもも2組の子どもたち。今後も子どもたちの成長を楽しみに見守っていききたいと思います。





②くすぐる、たたく、さする、つまむなど、いろいろな手への刺激が、子どもの感覚の発達を助けます。

⑥最後の「おしまい」のフレーズは、ボーンと手を軽くたたき動作と合わせて、子どもたちは大好きです。



2 いっすんぼうし



手の甲をひたさし指で触る。

2 こちょこちょ



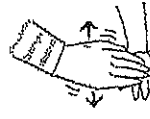
手の甲をひたさし指と中指でくすぐる。

3 たたいで



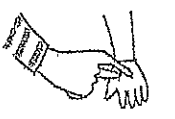
手の甲を軽くたたく。

4 さすって



手の甲をさする。

5 つまんで



手の甲を指で軽くつまむ。

6 おしまい



手の甲を軽くボーンとたたく。



すみれ組

「お散歩大好き！」

お散歩へ行くことが大好きな子どもたち。

電車を見に行き、踏切が"カンカン"と鳴り始めると、耳に手を当ててよく音を聞き、左右のどちらから来るのかと真剣な表情ですが、電車が目の前を通っていくと、キラキラした笑顔になり全力で手を振る姿がとても可愛らしいです。子どもたちに「何色の電車が来るのかな?」と、尋ねると「あか!」「あお!」と、好きな色をたくさん答えてくれますよ。

先月、すみれ組に進級してから初めての養父元町公園へ行くと、どんぐりがたくさん落ちていました。両手に抱えきれないほどのどんぐりを持ち、嬉しそうに見せに来てくれましたよ。保育者がどんぐりの帽子を見つけて子どもたちに声を掛けると、どんぐりの帽子を自分の帽子の上に乗せてニッコリ笑っていましたよ。

これからどんどん寒くなりますが、暖かい日を見つけてお散歩へ行きたいと思います。お散歩へ行った

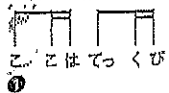
すみれ組 今月のわらべうた

「ここはてっくび」

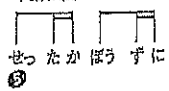
歌い方のポイント

「てくび」は「てっくび」というように、リズムカルに歌いましょう。

手首を2回、円を描くようになでる



① 中指、2回



② かん たるうさん

手のひらを2回軽くたたく

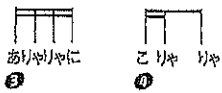


③ 薬指、2回

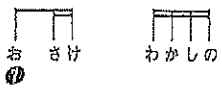


④ いしゃぼうず

親指の先をつまむ 人差し指



⑤ 小指を4回つまむ



⑥ おさけ わかしの

どうしてあそぶの?

① ここは てっくび
子どもの手首を、2回まわすようになる。

② てのひら
「て」と「ひ」で、手のひらを軽く2回たたく。

③ ありやりに
「あ」で、親指を1回つまむ。

④ こりやりや
「こ」で、人差し指を1回つまむ。

⑤ せったかぼうずに
「せ」と「ぼ」で、中指を2回つまむ。

⑥ いしゃぼうず
「い」と「ば」で、薬指を2回つまむ。

⑦ おさけわかしの かんたろうさん
「お」と「わ」、「か」と「き」で小指を4回つまむ。

☆ちゅうりっぷ組 「ドングリミーつけた！」

先日、初めてちゅうりっぷ組全員で手を繋いで散歩に行きました。「今日は、ちゅうりっぷ組皆で行くよ！」と、伝えると「やったー！お散歩！」と、大喜びの子どもたち。手を繋いで出発すると「あそこ〇〇のお家やでー！」「あの車パパの車と同じ色ー！」と、隣のお友だちや保育者とお話しながら楽しんで歩いていました。公園に到着すると、皆で秋探しをしました。1人1枚ビニール袋を持って「ドングリあった！帽子被ってる！」「こんなおっきい落ち葉あったよ！」と、色々なものを拾い集めていました。お友だちと一緒に「ドングリ〇個拾ったよー！」「私は〇個！」と、拾った数を競ったりしている子もいれば、ドングリがいっぱい入った袋を揺らして「なんかシャラシャラ言ってるー！」「音聞こえるー！」と、不思議な発見をしたりする子もあり、それぞれ楽しんでいました。また、見たことのない虫を発見して「何これ！足たくさんある！」「落ち葉で触ってみよ！」と、お友だちと協力して捕まえようとする姿も見られましたよ。

公園の中にある小高い丘の斜面は降りるのがちょっと怖い様子の子どもたち。保育者に「お手々貸して～」と、助けを求めたり、お友だちと手を繋いで協力して降りたり、他園のお兄ちゃんが手を貸してくれたりして、皆無事に降りることができました！

沢山の思い出が詰まった袋いっぱいのドングリは、ズボンのポケットに入れて大切に持って帰ってきました。

また、秋探しやお散歩に行き、色々な自然に触れていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組 今月のおすすめ絵本 「おでんのゆ」 作・絵 真珠まりこ

「お風呂の時間ですよ～」と呼ばれ、次々にやってくる具材たち。子どもたちとたくさん読んでいるうちに、次に出てくる食材の順番を覚えて「次は大根！ちくわ！」と、保育者より先に教えてくれます。読みながら「これ食べたことあるー！」「これはない！」などと、友だちや保育者と大盛り上がりです。はんぺんや、がんもどきなど難しい食材を覚えている子もいますよ。

「もういいかいー？」「もういいよー！」の合図で、ほかほかおでんが完成すると「いただきまーす！」と、食べる真似をする子どもたちの姿がとても可愛らしいです。「お家で食べたいな～」「早く食べてみたい！」と、待ち遠しい様子の子どもたちです。

